

福岡県議会の疑惑の解明と県政・県議会の 正常化を求める決議

今般、福岡県議会において生じた、一部の議員による海外視察における社会的な基準を著しく逸脱した多額の公費支出や、正副議長ポストをめぐる金銭授受疑惑は、物価高騰をはじめとする厳しい社会情勢の中で生活を営む住民の目線から見て、到底容認できるものではなく、多くの県民の間に大きな怒りと失望が広がっています。

「海外視察」では、3年間で当初予算の3倍以上もの公費をつかい、基準額を超える高級ホテルでの連泊や、前議長個人の日本獣医師会の海外活動にあわせ、「ワンヘルス公務」と称して、「海外視察」を専決していた事実が明るみに出ました。また、前議長が、自身の政治資金パーティーの経費に政務活動費を充てていた違法支出の事実も発覚しています。

さらに、県議会の正副議長を経験した議員らが、ポストをめぐり自民党県議団幹部から多額の金銭を要求され支払い、議長就任パーティーで回収していたなど、これが「長年の慣例」だったと相次いで証言が出てきています。名指しされた前議長や前副議長らは「事実無根」と真っ向から否定していますが、事実であれば公職のポストをカネで売り買いしていたという大問題です。

こうした中、関係者による辞職等の動きがあり、また、福岡県及び県議会の双方で第三者委員会が設置されるなど、事実関係の解明と信頼回復に向けた取組が進められていますが、その成果を県政・県議会の正常化につなげていくことが重要です。

よって、水巻町議会は、県政・県議会の正常化を心から願い、福岡県議会が以下の事項について、実施されるよう強く求めます。

1. 2023年度以降のすべての海外視察について徹底的な検証を行い、不適切な支出が認められた場合は返還を含めた厳格な措置をとること。また、今後の視察については県民が十分に検証できる情報公開を徹底すること。

2. 正副議長ポストをめぐる金銭授受疑惑や政務活動費の支出について、第三者機関の活用や正副議長経験者など元職を含めた徹底的な調査を行い、客観的な真相究明と県民への明確な説明を行うとともに、県民の理解と納得が得られる信頼回復の方策を示すこと。

以上、決議します。

令和8年9月18日

福岡県遠賀郡水巻町議会